

診療報酬改定等の影響がなかった場合の決算等（粗い試算）

(単位:億円)

		28年度 決算	29年度 決算	30年度 見込
収 入	保険料収入	84,142	87,974	91,400
	国庫補助等	11,897	11,343	11,800
	その他	181	167	200
	計	96,220	99,485	103,400
支 出	保険給付費	55,751	58,117	60,600
	拠出金等	33,678	34,913	35,000
	その他	1,805	1,969	2,700
	計	91,233	94,998	98,300
単年度収支差		4,987	4,486	5,100
準備金残高		18,086	22,573	27,673

診療報酬改定等の影響を除いた収支

(単位:億円)

		28年度 決算	29年度 決算	30年度 見込
収 入	保険料収入	83,782	87,564	90,980
	国庫補助等	12,047	11,503	12,120
	その他	181	167	200
	計	96,010	99,235	103,300
支 出	保険給付費	56,431	58,907	62,160
	拠出金等	34,078	35,353	35,870
	その他	1,805	1,969	2,700
	計	92,314	96,228	100,730
単年度収支差		3,697	3,006	2,570
準備金残高		16,797	19,803	22,373

注1) 繰越整理のため、計数が整合しない場合がある。

診療報酬のマイナス改定や制度改正の影響を除けば年々収支差は縮小している

28年度: ▲1,290億円

【要因の内訳】
 ①28年度診療報酬のマイナス改定の影響(▲880億円)
 ②制度改正影響(▲410億円)
 ・標準報酬の上限引き上げ(▲350億円)
 ・入院時食事療養費の見直し(▲60億円)

29年度: ▲1,480億円

【要因の内訳】
 ①28年度診療報酬のマイナス改定の影響(▲1,010億円)
 ②制度改正影響(▲470億円)
 ・標準報酬の上限引き上げ(▲400億円)
 ・入院時食事療養費の見直し(▲70億円)

30年度: ▲2,530億円

【要因の内訳】
 ①28年度診療報酬のマイナス改定の影響(▲1,070億円)
 ②30年度診療報酬のマイナス改定の影響(▲930億円)
 ③制度改正影響(▲530億円)
 ・標準報酬の上限引き上げ(▲410億円)
 ・入院時食事療養費の見直し(▲120億円)